

# ちいきのなかま通信

No.91

発行日：2022年1月25日

発行者：特定非営利活動法人 ちいきのなかま

新しい年を迎えました。今年も「ちいきのなかま」は子どもと子育て家庭の幸せを願い、活動を続けてまいります。活動にご理解ご協力、応援よろしくお願いいたします。



## 2021を振り返ると…

コロナ禍も多くの方にファミサポ支援、産前産後の家事サポート等をお届けしました。児童福祉の分野のインフォーマル（制度外）の支援は多様で、質量ともに地域間格差があります。出産後の女性の就労率、就業形態の状況、そして地域の経済、産業構造や歴史など様々な環境要因も影響するからです。長崎は全国比で遅れ気味だと感じます。

その中で、手前味噌ではありますが、当法人が展開している支援は、先駆的であると自負しています。「家事サポート」は、今更稀有な事業ではありませんが「当事者主体の寄り添い型」とあるという点は多様性対応に成功しているという意味で、評価に値すると思います。スタッフはサポート前の訪問しての打ち合わせ（無料）を実施、利用者や家族の思いを受けとめます。家事能力だけでなく、コミュニケーション、課題共有の能力の高さなどが信頼の要因かと推察しています。

この事業を牽引する法人理事山崎は事業開始後から自身が支援に入り、多くの気づきを得ながら、仲間たちに支援の真意を伝え、チームを形成しています。幸い「ちいきのなかま」は「豊かな人材」と「実践の知恵」を有しています。課題解決の必要があれば地域の社会資源と連携し、協力を得ながら乗り越えるよう努めます。「ケア」が人を育み、子育てを支援する地域の環境作りにも貢献しています。

どれほど時代が変化しても、ケアなしで人は生きることにはできません。子どもはケアされて成長し、ケアを担う大人になります。この数年をかけて構築したインフォーマルな「ケアの文化：子どもと家庭の支援」を次世代につなげて行きたいと考えています。先ほど自ら先駆的と述べました。とはいえ、小さな組織であり、まだまだ未熟な点や課題をたくさん有しています。これからも、叱咤激励、応援を宜よろしくお願い致します。

## 2022年寄付のお願い

今年も赤い羽根共同基金「テーマ基金」に取り組みさせていただきます。基金へのご協力を心よりお願いいたします。皆様のご寄付は産前産後家事サポートの利用補助として活用致します。尚、今年の基金の活用報告、産前産後家事サポートの成果は別途報告をいたします。

# ファミサポ、支援者の思いが伝わる言葉たち

ファミサポの「報告書」の振り返りと再評価に取り組んでいます。。研究者の方と話す機会があり、子育て支援者の温かい気持ちや親子にかける言葉の優しさについて話したところ、それは本来日本人にある文化、と評されました。昔は当然存在した地域の人と人のコミュニケーションが失われているのは確かで、でも交流の場を得ると人は本来の力を発揮できるのだらうと推察しています。ほんの少し前まで、電話のある家の電話は近所の公衆電話だったし、お醤油など家になれば隣に借りに行きました。そんな支え合いの大切さを今の暮らしの中でも、過去とは違う形かもしれないけれど伝えたいです。

## 2020年度 ファミサポ活動報告書より

①報告員  
援助活動依頼申込書・報告書・領収書

1. 援助参加情報  
 本支援士  
 報告員氏名  
 よろばあ  
 子ども氏名  
 住 居  
 援助活動日 平成 年 月 日( ) 援助活動時間 : ~ :  
 援助活動場所 依頼者宅 提供者宅 わいわい広場 その他

2. 援助活動内容(記録)  
 時 間 事 象 備 考 子どもの様子  
 3. 特記事項  
 申し送り紙

4. 料金明細(領収書)  
 依頼員氏名  
 サポート料 円 単価 ¥ 500 × 時間  
 交 通 費 円 行き 円 帰り 円 駐車料金 円  
 立替払い 円 内 外  
 ・タクシー代 円  
 ・前後時間保育 円  
 ・食事(おやつ)代 円  
 ・その他 円  
 ・その他 円  
 合計金額 円 提供員住所  
 平成 年 月 日 提供員氏名  
 上記金額正に領収しました。 ※2・3枚目に捺印をお願いします。

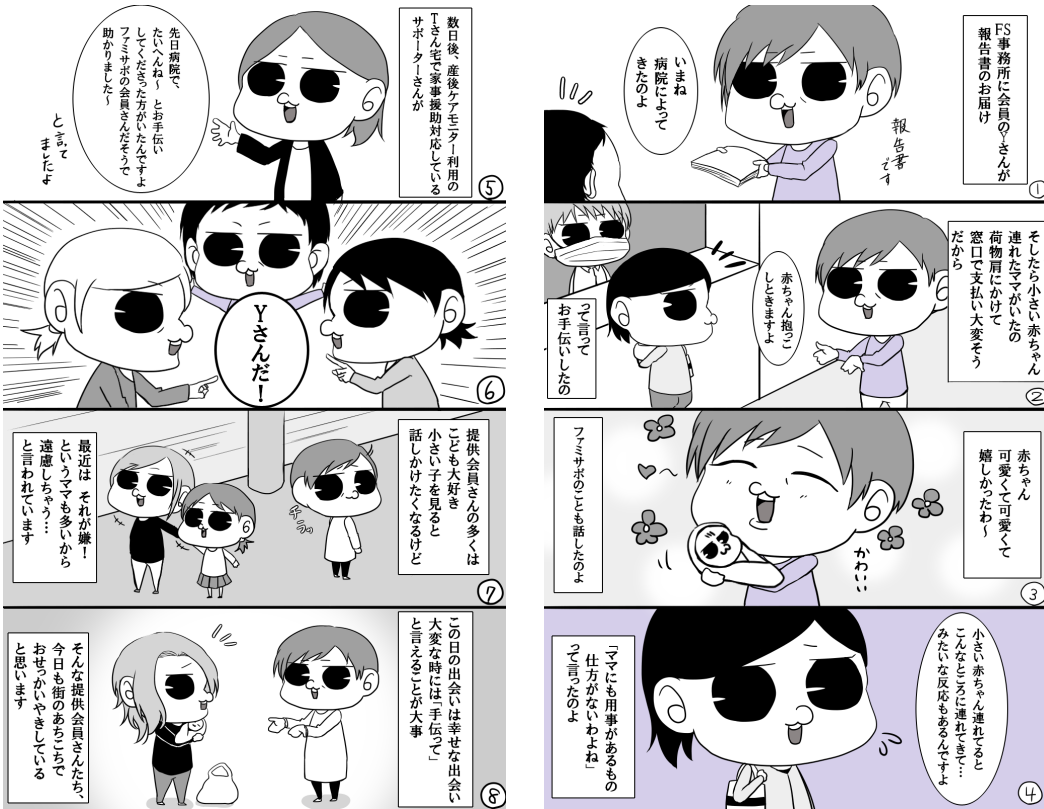
- ・ おむつ替えの時、おしっこシャワーを2度浴びました。
- ・ ウンチと言ったけど、もう出ていましたが、知らせてくれただけでも良かったです。
- ・ 公園の桜の花びらで「花咲かじいさん」のまねをしました
- ・ 近くの公園で。3人の小学生と遊びました。ツツジの花のジュースを作りました。
- ・ 顕微鏡で鉛筆の芯や髪の毛などを観ました。ピントを合わせるのが上手になりました。
- ・ お散歩へ、葉っぱやカミキリむしが気になりました。
- ・ つい手を出しそうになりますが、少し様子を見てからにするようにします。
- ・ ソファから降りるとき、上手に足から降りることができました。
- ・ つかまり立ちができるようになっていて、何度も見せてくれました。
- ・ 今日が一番、泣かないで待つことができました。時々思い出しては泣いていました。

- ・ 帰り道「どっち？」と言うと、「あっちー」と指さして無事に帰宅。
- ・ お話が上手にできるようになり、できる遊びも増えました。
- ・ 幼稚園の先生役になったり、お姉ちゃんになったり…遊びながらいろいろなルールを決めて「こうやるのはどう？」と提案してくれました。
- ・ 散歩のときに偶然仕事中的ママに会い、しばらくルンルンのイエイエイでした。

サポート終了時、わずかなスペースに「排泄のお世話、授乳などの記録」「楽しく遊んだこと」「成長の姿」「コミュニケーション力や社会性があると感じた出来事」などを会員さんは記録します。短い文章ですが、子どもの気持ちを尊重して向き合っている姿勢が感じられます。そのご家族の状況もご存知なので、行間にご家族への思いがあることを事務所では気づきます。今日、今この時にも、この事業は「子ども・子育て家庭」と社会をつなぎ続けています。孤立化著しい今の社会の中で、この事業の意義は確実に大きくなっています。

支援する人 こ～んなかんじ (vol. 69 掲載)

by 蓮すけ



Vol. 69 (2018)当時のコメント

「おばさんの着ぐるみを着た少女たち…」とファミサポの会員さんと話していると思うことがあります。50年ぐらい、またはそれ以上(…だと思いが定かではない)生きてきた彼女たちの経験は豊富です。だから大抵のことは受容できてしまう。上手に立ち回ることもしできる。みなさん大人です。しかし、子育てのこと、取り巻く環境などの会話でちょっと深く話を聞くと、とてもピュアな思いを吐露してくださることがあります。みなさん子どもと関わることについては「かわいいから」とか「元気をもらおう」とか一様に言われているけれど、その言葉の奥の深いところに、過去の時間への愛おしさ、後悔、切なさなどを見いだせます。元保育士で「ゼロ歳児と自分なりに向き合いたい」と話した方がいました。この時代、困っている人を見て声をかけるのは、勇気が必要なこと。彼女たちは、つい声をかけてしまう派。「いいえけっこう」と断られる人もいますが、懲りずにまた声をかけてしまう。彼女たちの背中を押す力って何だろう？多分彼女たちの中にある少女のようなピュアな気持ちじゃないか…というのが当面の見解です。

子育て支援者は「まひるの星」だと思える毎日。  
目には見えないけれど、地域の中でかがやく人たちです。

## ●これからのイベントや講座の予定●

イベント名	日時	会場	内容
おもちゃ整理の日	2月8日(火) 10:00頃から	ファミサポ事務所	おもちゃ遊びは10:30からOK
ぼちぼちヨガ教室	2月14日・28日 (月)	ボランティアセンター別館	定期開催 参加費 ¥500 会員外
ファミサポ 会員養成講座	2月15.16.21.22日	ボランティアセンター別館	支援者養成・システムの理解のために
子育て支援者 つながる会議	2月17日(木) 10:30から	ボランティアセンター別館	子育て支援者研修会 参加費 ¥500

赤い羽根共同募金「テーマ募金」へのご協力をお願いします。

**テーマ募金 使いみちを選べる募金** 募金実施期間 2022.1.1～3.31

**出産前後のご家族を応援します**  
～孤立する子育て家庭の産後の暮らしの応援にご寄付をお願いします～

コロナ禍で以前以上に家に閉じこもりがちです。産後に十分な休養できないまま無理をすると体調不良、ひいては産後うつになる危険性が高くなります。私たちは家事サポートや出張用紙学級で産後のご家庭を支援しています。

**募金のお使い**  
この事業は子育て家庭の自己負担で実施しています。お寄せいただいた募金は、本人負担軽減のために活用します。サポートが円滑に運営でき、多くのご家庭で幸せな子育てができますようにご支援をよろしくお願いいたします。

**NPO法人 ちいきのなかま**  
お問い合わせ  
〒857-0022 長崎県佐世保市山手町9-19  
TEL 090-9498-3608  
E-mail: chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp  
URL: http://chiikinonakama.boj.jp



年末年始にかけて子育て家庭の心中、子どもへの不適切な対応のニュースが続きました。コロナ禍で浮き彫りになりましたが、子育て家庭の孤立化が深刻です。子育てを知らない、SOSを発信できない、そんなご家族を少しでも減らしたい。妊娠・出産・子育てで家族が崩壊しないように支えたい。子育て家庭に早期から寄り添う支援のために、ぜひ募金にご協力をお願いします。募金は産前産後の家事サポートの利用補助として活用するほか、ご事情のある方々に、必要な支援も行うことができます。今年もぜひご協力をお願いします。

### NPO法人ちいきのなかま



入会・会員(正・賛助)会員継続のご案内  
**正会員：総会議決権あり 入会金¥1,000 年会費 ¥6,000**  
**賛助会員：総会議決権なし 年会費¥3,000**  
**主な特典：各種事業会員特別料金にてご優待**  
**連絡先 NPO法人ちいきのなかま**

〒857 0022長崎県佐世保市山手町9-19  
 携帯 090-9498-3608  
 E-mail:chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp  
 HP:http://chiikinonakama.boj.jp/